

# 町公民館だより

編集 日野町公民館 〒689-5131 日野町黒坂1243番地1  
電話：74-0212 FAX：74-0105  
E-mail：kouminkan@town.hino.tottori.jp

## 青年海外協力隊から学ぶ国際感覚

### ▼第10回おしどり学園



▲モンゴルでの体験を紹介する亀山さん(右)

2月16日、第10回おしどり学園を開きました。  
今回は、JICA（ジャイカ・独立行政法人国際協力機構）の協力により、「青年海外協力隊に参加して」と題し、青年海外協力隊の亀山明生さんの講演を行いました。  
青年海外協力隊とは、開発途上国への貢献をはじめ、友好親善の深化、ボランティア経験の日本への還元などを目的としています。亀山さんも同じ協力隊員としてモンゴルで活動。地域に溶け込み、現地の人と同じ目線で行なった活動や体験談を紹介しました。

モンゴルは、日本の4倍の国土に人口が約280万人と、世界で人口密度が一番低い国です。また、人口の半分は首都のウランバートルに集中。草原では遊牧民が生活し、冬は気温がマイナス40度まで下がります。世界で一番寒いといわれる中、防寒着で活動する様子も紹介されました。

また、バドミントンの普及と技術力向上を目的に来たものの、最初の試合で負けてしまいシングルからダブルスの指導に切り替えたというエピソードを紹介。そのほか、草原を馬に乗って移動したものの、翌朝には馬がいなくなってしまう困っていたところ、遊牧民が馬を連れてきてくれて助かったことなど、現地に行った人ならではの体験談が続きました。

講演には、モンゴル人のバイラさんも一緒に参加。モンゴルの歌を聞かせてほしいとのリクエストに応え、モンゴル語の歌を披露し会場をわかせました。  
学園生にとって国際感覚を広げる良い一日になったようです。

## 生涯学習でふれあいと交流の輪を広げませんか ■平成30年度おしどり学園生募集

町内のどなたでも気軽に参加できる生涯学習の場で、毎月、学園生のにぎやかな声が公民館に響いています。いつでも参加できますので、皆様のご参加お待ちしております。

【期間】 4月から毎月1回（第3金曜日）

【場所】 町公民館（当日は、町営バスを臨時運行します）

【内容】

▼一般教養講座 毎月、自然・人権・歴史・健康など、さまざまなテーマで講師を招き、学習を深める講演会です。

▼グループ専門講座 料理や手芸、生花、写真、健康教室、歴史講座、音読のグループで活動しています。楽しく学び、生きがいづくり・仲間づくり・健康づくりを行います。

▼町外研修 毎年、1回町外研修を行っています。

※一般教養講座だけ、グループ専門講座だけの参加でもかまいません。年齢制限もありませんので、ぜひお越しください。

【申込みおよび問合せ先】 町公民館（電話 74-0212）

### おしどり学園開講式のご案内

日時 4月20日（金）午前9時30分  
場所 町公民館 講堂

記念講演「放送こぼれ話」/  
講師 元NHKアナウンサー・藤澤武さん  
※講演はどなたでも参加できます。

## 地域の歴史をひもとく

### ▼古文書に親しむ会



▲古文書初心者も多く、初歩からのスタート

2月25日、町公民館で第1回古文書に親しむ会を開きました。

これは、日ごろから郷土史や古文書に興味がある人や古文書が読めるようになりたい人を対象に開いたものです。

講師には、鳥取県立公文書館の伊藤康さんを招きました。伊藤さんは、以前から鳥取西部地震で被災した古文書の調査を行っており、参加者にはなじみのある先生です。

教材は、県立博物館所蔵の黒坂・三輪家の文書を利用。はじめに、三輪家の系譜や、井出の掘削・新田開発に尽力した六代目・三輪甚兵衛の話聞き、古文書の歴史的背景を学びました。次回は、3月25日開催予定です。

## ケーブルテレビ入りました

### ▼町公民館で中海テレビが視聴できます



▲ケーブル引込工事の様子

町公民館では、2月8日から中海テレビ放送が視聴できるようになりました。

一階ロビーのテレビで、地上デジタル放送に加え、地域情報チャンネルの中海テレビニュース・コムコムスタジオ（111チャンネル）、中海チャンネル121（121チャンネル）、生活情報チャンネル（123チャンネル）が視聴できます。

春には、日野町独自チャンネルの放送も始まります。待ち遠しいですね。

## 深めよう地域の輪

### ▼黒坂2区出前公民館レポート



▲みんなで作れば料理はもっと楽しい！

2月5日、黒坂2区集会所で出前公民館を開きました。

当日は6人の女性が参加。午前中は、町食生活改善推進協議会の福田廣江さんを講師に迎え、料理教室を開きました。

はじめに減塩についての話を聞き、その後福田さんの指導で中華丼や野菜入りコーンスープなど4品を作りました。おいしい料理に話も弾みました。午後からは、ペーパークラフト教室を開催。いろいろな色や形のパーツを思い思いに張り付けて作る三角しおりに挑戦しました。個性あふれる作品の数々に思わず吹き出したりと、楽しいひとときを過ごしました。

## ふるさとのことば

～日野弁なんずかんず～ 第56回

### 「マナスミ」の謎

地名が語る 日野の歴史④

日野町濁谷、門谷、秋縄、三土の4集落が存在する地域を、真住といひます。

この「真住」、江戸時代には、鳥取藩領の郷として、「眼角」と呼ばれていたことが分かっています。「まなこの角」とは、「角膜」ではあるまいし、おそらく当て字でしょう。

それでは、「マナスミ」のもともとの意味はなんだったのでしうか。

まず思い浮かぶのは「真澄」。山からの澄んだ水が豊富だったであろうことは、現

在の地域の様子でもわかりますよ。

しかし、「真住川」が集落の真ん中を流れる地域は「濁谷」。これは何を意味するのでしょうか。

また、「マナ」とは、古くは「真魚」、魚という意味もありません。おいしい魚がたくさん住んでいる里、という意味だったのかもしれない。

このように、地名の由来がはっきりしないものは数多くあります。「マナスミ」、皆さんはどう解釈しますか？

協力：日野町歴史民俗資料館友の会